

令和7年11月2日(日) 09:00-11:00

第7会場

<テーマ>

血液担当技師として一歩前進！ ～スキルアップし、仕事にやりがいを～

<ねらい>

タスクシフトが進む中、医師を助ける業務は考えればたくさんあります。医療事故につながるパニック値の報告も重要な事です。近年医療事故において『データーを見てなかった・・・』といった事も多々あります。チーム医療として検査室がどのように関わるか、私たちが責任を持ってデーターを返せるよう各施設での取り組みを紹介します。また年代を問わずスキルアップは大事です。認定資格に挑戦し、個々のレベルを上げることで医師とのコミュニケーションがとりやすくなり、また自身のモチベーションも変わります。今回はこのような視点から参加者とディスカッションし、若手技師の育成や個々のモチベーションが上がる事につながればと思います。

司会 広瀬逸子（鈴鹿回生病院 臨床検査課）

杉本慶子（伊勢赤十字病院 臨床検査課）

<講演内容>

1. 血液検査室の異常値 / パニック値について

演者：干場 大輔（恵寿総合病院 臨床検査課）

演者：西島 来夏（富山県立中央病院 検査科）

2. 血液検査のスキルアップ・・・認定技師を目指そう！！

演者：武村 友貴（公立陶生病院 臨床検査部）

演者：杉山 直久（大垣市民病院 診療検査科）

3. 血液担当技師としてできる臨床支援～ 中部圏支部でスキルアップを支援します ～

演者：大橋 勝春（JCHO 三島総合病院 検査部）

コメンテーター

佐藤 聖子（藤田医科大学病院 臨床検査部）

杉田 拓海（黒部市民病院 臨床検査科）

山崎 貴子（城北病院 検査部）

神戸 歩（岐阜大学医学部附属病院 検査部）